

# 指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート概要（令和3年度事業分）

施設名 山梨県立科学館

所管課 教育委員会 生涯学習課

指定管理者 山梨科学推進グループ

構成団体 株式会社テレビ山梨、株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー

## 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位：円)
財団法人山梨県青少年協会	○	H18.4.1～H21.3.31	3年	1,061,329,000
公益財団法人山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1～H26.3.31	5年	1,741,822,000
公益財団法人山梨県青少年協会	○	H26.4.1～H31.3.31	5年	1,643,575,000
山梨科学推進グループ		H31.4.1～R5.3.31	4年	1,214,285,355

## 2 施設の概要

所在地	甲府市愛宕町358-1
設置年月日	平成10年7月20日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立科学館設置及び管理条例
設置目的	青少年をはじめとする県民の科学に対する関心と理解を深め、豊かな感性と創造性を育み、もって教育及び文化の発展に寄与する。
主な業務の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用の承認に関する業務</li> <li>2. 施設及び設備器具の維持保全に関する業務</li> <li>3. 施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務</li> <li>4. 科学に関する展示及び講演会、催し等の実施に関する業務</li> </ol>
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敷地面積:1,194㎡</li> <li>○建築延面積:6,497.61㎡</li> <li>○建物の構造:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨・一部木造) 地下1階、地上3階</li> <li>○施設の内容 展示室・多目的ホール・あそびの部屋 2,568㎡ スペースシアター 693㎡(定員180席) 実験・工作室 328㎡ 天体観測室・展望テラス・サイエンスショーブース・エントランス等 2,909㎡</li> </ul>
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	R4.3.16 エレベーター棟設置等工事(24,071,300円)

## 指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート概要（令和3年度事業分）

### 3 指定管理業務に係る収支状況

（単位：円）

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	381,149,147	375,342,046	357,286,527	339,837,000	359,748,828	
支出合計	377,310,584	355,213,791	356,394,830	340,167,000	359,713,904	
収支差額	3,838,563	20,128,255	891,697	△ 330,000	34,924	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	168,660人	154,874人	140,703人	71,267人	103,870人	入館者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

### 5 運営目標の達成状況（令和3年度）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最繁忙期の8月中旬から約1か月間の臨時休館措置が取られたほか、各種事業についても、中止・延期等の対応を行ったこともあり、入館者数、収入ともに目標を下回る結果となったが、令和2年度と比較して、利用者数は回復基調にある。

感染症対策としては、引き続き、スペースシアターの定員削減等や換気の徹底、チェックリストを用いた対策の確認などを行っており、県立施設として、コロナ禍でも安心・安全に利用して頂くことに取り組んでいる。職員1名アルバイト3名の感染者が発生したが、適切に対策を講じているため、利用者への影響はなかった。

施設全体の課題としては、開館から20年以上経過する中で、耐用年数を超えた設備・機器が多くなり、故障や修繕対応が年々増加傾向にあることがあげられるが、引き続き日常的なメンテナンスや定期的な点検等を徹底し、適切な維持管理に努めていく。

### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項（令和3年度）

年間を通して、新型コロナウイルス感染症対策・施設維持管理を適切に行い、利用者にとって安全安心な見学・体験環境を整えており、施設運営に努めている。

令和3年度は、隣接する愛宕山こどもの国の改修工事や科学館内のウッドデッキの修繕など感染症対策につながる工事が続く中、県と連携し、通常の点検作業に加え利用者が安心して利用できるよう積極的に作業に協力していた。

指定管理者として、必要な報告は適切に行われており、科学教育に関する事業の実施に関しても、業務計画書のとおり実施され、適正に運営している。

利用者数も増え、利用者満足度も高水準が保たれている。

引き続き、閑散期(冬季)も含めた利用者増加につながる情報発信や施設の整備と感染症対策を行い、利用者ニーズに対応した施設運営を望む。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況（令和3年度）

利用者ニーズを取り入れたサイエンス屋台の開設や土曜科学クラブの開催、プログラミング教室の高度化等に取り組んでいる。TV/ラジオCMやHP、SNSを活用した情報発信にも注力し、利用者の利便性の向上につなげた結果、下期の回復傾向の中、年間の入館者数は10万人を上回る結果となった。コロナ禍の先行きは不透明であるが、引き続き安心・安全な施設運営を徹底し、利用者数の回復に取り組んでいく。

# 指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート詳細（令和3年度事業分）

施設名 山梨県立科学館  
 所管課 教育委員会 生涯学習課  
 指定管理者 山梨科学推進グループ  
 構成団体 株式会社テレビ山梨、株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー

## 1 利用状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	入館者	168,660	154,874	140,703	71,267	103,870
	(うちスペースシアター観覧者)	(50,970)	(48,831)	(49,809)	(23,225)	(37,629)
	(うち学習利用者)	(16,322)	(13,609)	(12,378)	(8,535)	(11,066)
	(参考:主催事業参加者)	(278,517)	(232,828)	(193,369)	(100,357)	(149,016)
	利用者数合計	168,660	154,874	140,703	71,267	103,870
	目標値	170,000	170,000	182,073	186,640	162,580
	実績/目標割合	99.2%	91.1%	77.3%	38.2%	63.9%
目標値の設定方法	平成30年度の実績数字を基に、弊グループ内企業の運営する他施設の実績等を加味して設定					
利用率	稼働率等(利用率)	535人/日	511人/日	486人/日	265人/日	343人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数÷開館日数				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

## 3 補修工事等の状況(令和3年度)

(単位:円)

県 エレベーター棟他工事費	24,071,300
県 補助加圧ポンプ設置工事他7件	5,859,645
管 LAN工事・設置一式(4年分割計上)	942,300
管 大村先生展示ブース修繕	280,500
管 シアター音響機器修理・調整作業費ほか15件	1,456,810

修繕等の負担区分(基本協定書) : 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

\*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和3年度)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
2	随意契約	売り上げの20%・30%	277,888	0

指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート詳細（令和3年度事業分）

5 指定管理業務に係る収支状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	381,149,147	375,342,046	357,286,527	339,837,000	359,748,828
	施設利用料	43,085,025	39,062,907	39,301,190	19,214,374	29,606,500
	指定管理委託料	328,022,000	327,121,000	297,620,000	296,198,000	300,144,553
	追加委託料(感染症)			2,697,624	11,361,207	9,149,571
	事業収入	4,547,730	4,131,990	6,735,610	5,138,514	8,871,520
	自販機収入	426,474	543,061	516,554	211,314	277,888
	レストラン収入	600,000	600,000	958,400	517,000	822,000
	売店収入	3,613,220	3,001,623	9,457,149	6,220,454	10,734,229
	その他(雑収入他)	854,698	881,465		976,137	142,567
支出	B 支出額計	377,310,584	355,213,791	356,394,830	340,167,000	359,713,904
	人件費	137,449,079	124,489,818	115,684,119	116,143,726	129,632,290
	修繕費	10,472,416	5,074,758	3,772,462	1,625,695	2,679,610
	光熱水費	17,751,676	20,113,627	17,069,463	12,194,643	15,607,684
	諸謝金	467,141	271,195	272,701	352,320	397,021
	旅費交通費	1,516,447	1,262,098	315,357	127,746	132,628
	消耗品費	13,285,772	10,173,752	14,766,410	6,687,467	11,138,385
	燃料費	5,052,712	4,935,310	5,316,564	3,562,413	5,334,089
	印刷製本費	9,925,392	7,540,700	6,544,059	5,442,031	6,933,639
	通信運搬費	4,898,055	5,193,832	5,339,473	4,204,419	4,203,770
	広告料	9,116,676	5,601,636	14,152,912	7,664,063	9,680,811
	使用料	62,191,734	64,609,255	38,451,862	39,350,526	31,477,643
	租税公課	11,302,001	11,595,691	43,150	5,724,575	2,829,745
	食糧費	964,344	865,292	314,381	175,482	246,087
	保険料	159,480	159,670	109,210	125,770	265,363
	負担金	403,992	254,450	42,250	41,375	41,375
	本部経費			13,755,000	15,219,353	20,221,000
	シヨップ原価			5,767,698	4,256,352	7,146,107
	支払手数料	32,812	30,780			
	雑費	2,851	340	283,399	170,181	187,185
	外部委託費	92,318,004	93,041,587	114,394,360	117,098,863	111,559,472
	清掃業務	8,094,191	8,128,068	13,106,700	13,094,552	13,226,840
	空調保守点検	3,225,096	3,225,096	3,302,700	2,232,300	3,082,200
	プラネタリウム保守点検	10,513,800	9,266,400	4,600,699	4,685,897	4,685,897
	企画展委託業務	21,156,371	19,450,813	15,917,423	13,537,733	14,793,762
	プラネタリウム番組制作費	22,345,200	22,118,400	18,200,000	26,680,000	32,035,000
	展示物保守点検	5,648,400	5,400,000	1,858,640	584,712	652,000
	その他	21,334,946	25,452,810	57,408,198	56,283,669	43,083,773
外部委託比率	24.5%	26.2%	32.1%	34.4%	31.0%	
県への納付金						
収支差額(A-B)		3,838,563	20,128,255	891,697	△ 330,000	34,924
一人当たり指定管理者委託料*		1,944.9	2,112.2	2,115.2	4,156.2	2,889.6

\* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	946,432	1,159,943		330,000	
D 支出額計	106,098	218,375			
収支差額(C-D)	840,334	941,568		330,000	

指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート詳細（令和3年度事業分）

6 利用者満足度

実施方法等	令和3年4月～令和4年3月（令和3年8月12日～9月11日は休館） 来館者・各プログラム参加者等に対する筆記式アンケート調査 利用103,870名中：10,358件・団体及び学習利用者：327件			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
スペースシアター	75.3%	23.4%	1.2%	0.1%
実験教室	88.2%	11.3%	0.5%	
工作教室	87.9%	11.6%	0.4%	0.1%
あそびの部屋クラフト	89.2%	10.3%	0.3%	0.2%
プログラミング教室	98.3%	1.0%	0.6%	0.1%
施設全般の満足度	83.3%	16.5%	0.2%	
利用者の主な意見	<p>【施設・設備・管理運営】</p> <p>①駐車場が少ない。駐車台数の増加。 ②イベントプログラムのネット予約ができるようになるといい。 ③キャッシュレス決済ができるようになるとう便利になる。 ④入館料やイベントプログラム参加料の値下げ。</p> <p>【企画事業】</p> <p>①子供用がメインだと思うが、大人向けのプラネタリウム番組も増やしてほしい。 ②もっといろんなシアター上映を希望。 ③実験工作、サイエンスショーの種類をもっと増やしてほしい。</p>			
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <p>①繁忙期に臨時駐車場の設置。臨時駐車場からシャトルバスの運行。 ②ネットの事前予約が可能なイベントについて、広報誌で情報提供している。 ③キャッシュレス決済については、導入を検討している。 ④入館料についての質問や意見に対しては、入館料は施設の維持・管理に、プログラムの参加費は材料費であると引き続き説明をしている。</p> <p>【企画事業】</p> <p>①②③参加者への聞き取りなどにより満足度や要望調査を行い、令和3年度の企画に反映させた。実施後はアンケート調査を実施し、更なる改善に努める。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート詳細（令和3年度事業分）

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>コロナ感染症対策の徹底に向け、空調換気コントロールや展示施設の消毒等、安全・安心な施設運営に取り組んでいる。</p> <p>開館20年以上を経過する中で、設備の老朽化も進んでいるため、日常的なメンテナンスや定期点検等を通じて、施設・設備の維持管理を徹底するとともに、県との情報交換により、適切な修繕や設備更新等にも取り組んでいる。</p>	<p>法定点検業務等、施設の管理業務が業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されている。</p> <p>メンテナンスや点検から得た情報を、日常的に交換することで、計画的な修繕や設備更新につながっている。</p>
運営業務	<p>チェックリスト等を活用し、入館時の検温・消毒・連絡先の確認等の感染症対策を徹底し、安全・安心な施設運営に取り組んでいる。</p> <p>臨時休館期間には実験工作等の新規メニュー開発に注力した。また、出張科学館のニーズに対してリモート対応を導入するなど、学校現場との新たな連携にも取り組んだ。</p> <p>テレビ・ラジオCMやSNSを活用した情報発信や旅行代理店への営業活動等にも積極的に取り組み、コロナ禍での利用者増を図っていく。</p>	<p>運営業務や感染症対策について、業務仕様書、業務計画書、チェックリスト等に基づき適正に実施されている。</p> <p>新しい生活様式における工夫した新規企画・情報発信に取り組むことで、利用者の増加につながる取り組みが実施されていた。</p> <p>新たに旅行代理店への企画展PRを積極的に行い、利用者増加に積極的に取り組んだ点について、評価できる。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、最繁忙期の8月中旬から約1か月間の臨時休館措置が取られたほか、各種事業についても、中止・延期等の対応を行ったこともあり、入館者数、収入ともに目標を下回る結果となったが、令和2年度と比較して、利用者数は回復基調にある。</p> <p>今後も安心・安全な施設運営をPRし、利用者数の回復を図っていく。</p>	<p>感染症拡大防止のための取り組みもあり、目標値には及ばなかった。</p> <p>科学館の魅力をPRし、広く周知・広報することで、利用者数の回復を図っていくことを期待する。</p>
収支状況	<p>コロナ禍で利用者数が大きく落ち込む中、様々な経費削減に取り組むなど、経営努力を続けたが、大幅な減収となった。</p> <p>臨時休館措置に対する指定管理料の補填を受ける中で、支出削減等に取り組む、収支の均衡を図った。</p>	<p>臨時休館等により利用者がコロナ前に比べ落ち込む中、経費削減に取り組むなどの経営努力は評価できる。</p>
自主事業	<p>臨時休館や感染症対策等の影響で、今年度も一部のイベントやプログラムが中止や延期となった。</p> <p>引き続き、定員数や実施回数の制限等はあるものの、科学工作・サイエンスショーの新規メニューの立案・開催等、積極的な取り組みを進めていく。</p> <p>プラネタリウムでの上映番組やイベント企画の二次使用に関わる権利事業については、コロナ禍で思うような成果が上がっていない状況だが、引き続き営業活動に取り組む。</p>	<p>昨年に引き続き、感染症対策を考慮しながらも科学工作教室（サイエンス屋台）の新規メニュー実施や使用頻度の少ない多目的ホールを使った読み聞かせイベント等、積極的な取組は評価できる。</p> <p>今後も、利用者の満足度を高めるとともに、科学への興味関心を深める取り組みを継続していくこと。</p> <p>引き続き、新規イベントやプログラムの企画・運営に期待する。</p>
利用者満足度	<p>各プログラム共に高い満足度を得ており、利用者ニーズを取り入れた継続的な取り組みが評価されている。</p> <p>一方で、キャッシュレス決済やHPからの事前予約の導入等、引き続き多くの要望が寄せられており、今後の課題として取り組んでいきたい。</p>	<p>感染症対策として利用制限がある中、施設全体の満足度の割合が80%以上あることに評価はできるが、引き続き、利用者アンケートの回答をもとに魅力あるプログラムを提供することで、満足度を高める工夫をしていくこと。</p> <p>併せて、ウィズコロナ時代に対応するような、キャッシュレス決済の導入などにも積極的な取り組みを希望する。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート詳細（令和3年度事業分）

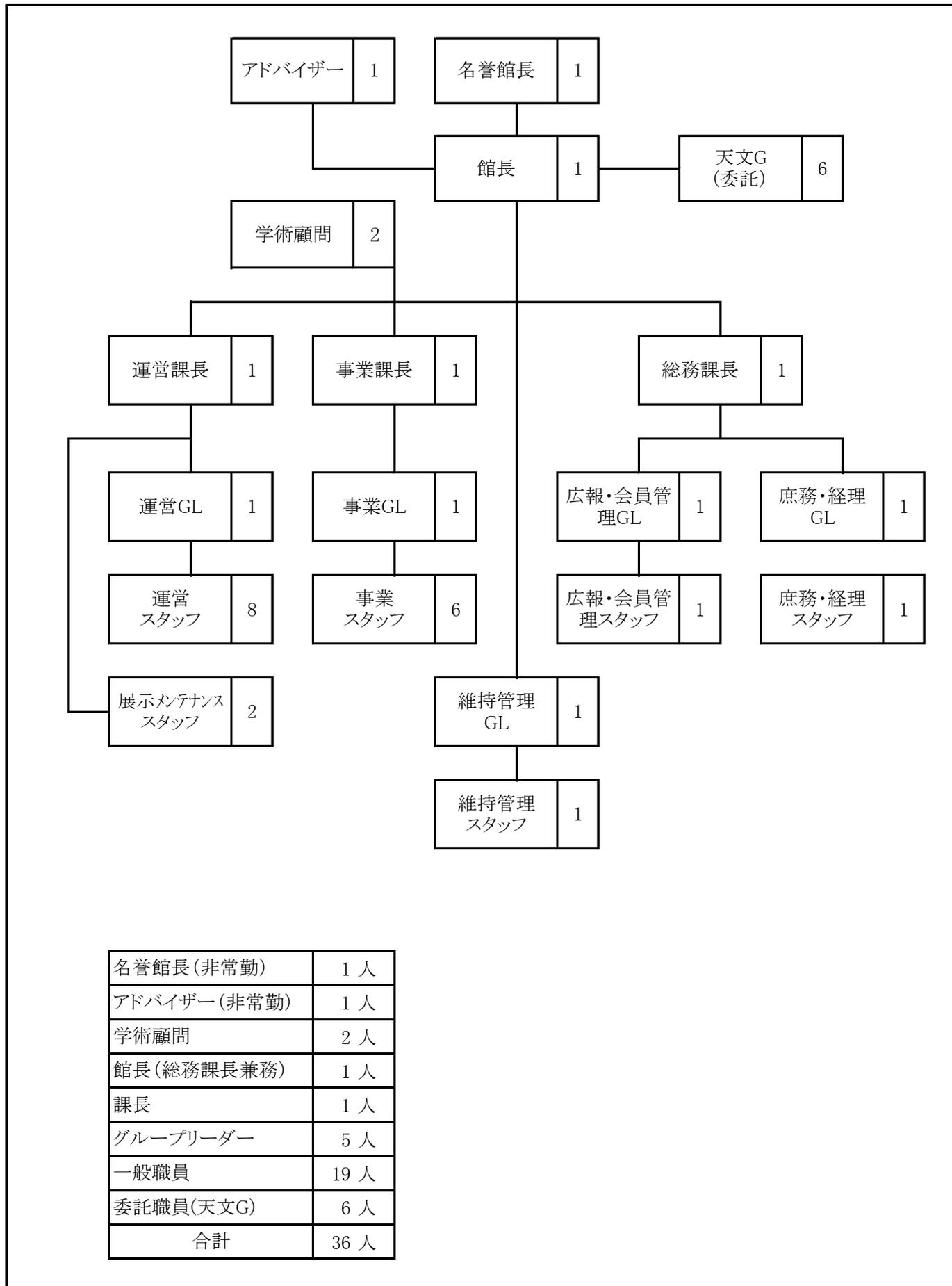
8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
冬季(12~2月)の利用者確保	<p>【目標値】 15,884人(前年度利用者数×1.05)</p> <p>【実績】 15,804人。達成率99.5%おおむね達成</p>	<p>コロナの影響もあるが、目標値達成のため、利用者確保となる運営を引き続き実施すること。</p>
科学教育に対する多様な事業の実施	<p>【指標】年間の企画展やイベントの実施回数</p> <p>【目標値】 4回 春季・GW・夏季・秋～冬季に各1回</p> <p>【実績】4回。達成率100%</p>	<p>目標値を達成しているが、引き続き、利用者アンケートからニーズを考察し、企画展や科学工作・サイエンスショーなどイベントの企画・実施に積極的に取り組むこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート詳細（令和3年度事業分）

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在



名誉館長(非常勤)	1人
アドバイザー(非常勤)	1人
学術顧問	2人
館長(総務課長兼務)	1人
課長	1人
グループリーダー	5人
一般職員	19人
委託職員(天文G)	6人
合計	36人